



平成 21 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 ホウライ株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 西山 茂  
(JASDAQ・コード 9679)  
問 合 せ 先 専務取締役兼専務執行役員  
役職・氏名 総合企画部長 吉森 俊和  
電 話 03-3546-2921

### 中期業務計画策定に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 11 月 13 日開催の取締役会において、平成 22 年 9 月期を初年度とする新中期業務計画を、下記のとおり策定しましたので、お知らせいたします。

#### 1. 計画策定の背景

当社は昨年、平成 21 年 9 月期～22 年 9 月期の 2 ケ年計画を策定し、達成に向けた取り組みを実施してまいりました。

しかし、計画初年度における国内外の経済的環境の変化は、計画策定時の予想を遥かに超えるものであり、又先行き依然不透明であることから、改めて具体的対応策を再構築することとし、本年 10 月から開始する中期業務計画（平成 22 年 9 月期～23 年 9 月期）を再策定することといたしました。

なお、本計画におきましても、計画期間は 2 ヶ年としました。

#### 2. 新計画の基本方針

##### (1) 基本方針

平成 20 年秋の米国リーマンショック以降、世界経済は混迷の色を強め、日本においても先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況下、当社としては「収益体質の強化」を最優先課題と位置付け、安定配当を維持し、財務体質改善を図り、「New ホウライ」への変革を目指します。

厳しい環境変化、景気動向に柔軟かつスピーディに対応できる体質作りを推進します。

##### (2) 収益体質の強化のポイント

###### ① 事業戦略の明確化

各事業領域における環境変化とお客様ニーズをよりの確に把握・分析し、具体的かつ実効性のある施策をスピード感を持って推進します。

②ローコストオペレーションの実現

営業費用、製造費用、一般管理費などあらゆる方面で、コスト構造を見直し、更なるコスト圧縮を推進します。

③人材マネジメントの推進

役職員一人ひとりの能力・スキルをより高め、活力ある社員作りを推進します。

3. 計画の概要

年度別計画値の概要は下表のとおりであります。

主な年度別特徴を中心に要点を申し上げます。

- (1) 初年度の平成 22 年 9 月期は、本計画と同日付「平成 21 年 9 月期 決算短信（非連結）」の「22 年 9 月期の業績予想」で報告のとおり、営業収益・利益とも微増の計画です。オフィス空室率上昇の影響を見込んだ不動産事業以外は、継続的に販路拡大に取り組んでいる乳業事業をはじめ、各事業部とも基盤拡充など実効性のある施策推進により、増収・増益を計画しております。
- (2) 次に平成 23 年 9 月期は、景気動向は不透明ですが、各事業での成長戦略に沿った施策推進により、増収増益（営業・経常利益段階）を計画しております。

以上のように、当社は厳しい経済環境の下で、重要な課題に対処しつつ、永続的健全経営を目指し、全役職員一丸となって努力してまいります。

<新中期業務計画の概要>

(有価証券報告書ベース、単位：百万円)

	平成 21 年 9 月期 実績	平成 22 年 9 月期 計画	平成 23 年 9 月期 計画
営業収益	5,852	5,900	6,080
営業利益	459	460	570
経常利益	893	900	980
当期純利益	538	560	610

\*上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予測数値と異なる結果となる可能性があります。

#### 4. 主な事業部門別施策等

- (1) 保険事業部門は少子高齢化や、保険業界の再編動向等代理店を取り巻く環境が厳しさを増す中、お客様とのリレーションをより強化し、新規マーケット開拓、代理店買収の促進等により、収益向上を図ってまいります。一人ひとりの提案力・コンサルティング力を高める等人材育成に努めるとともに、正確・効率的な事務とコストダウンに取り組みます。
- (2) 不動産事業部門は、オフィス需要が低迷し都心の賃料水準も低下傾向にある等、厳しい環境下にあります。計画的かつ効率的に改修工事を進め、ビルグレードの維持向上に努め、適切な賃料の維持と優良なテナントの確保により、安定的な利益確保を図ります。
- (3) 乳業事業部門は、食の安全性を第一に考え、引き続き品質・衛生管理を徹底するとともに、自給飼料の活用、在庫管理の徹底など原価低減策や、販売チャネルの拡大、ギフト・宅配など営業戦略を強化し、黒字化に向けて全力を傾注します。
- (4) 観光事業部門は、自然と牧場のイメージを活かすことを基本コンセプトに、施設の整備・拡充を推進し、観光牧場としての魅力を高めてまいります。各種イベント企画やお客様ニーズに合わせたレストランメニューや商品開発に取り組むとともに、観光協会や旅行業者や観光宿泊施設等とのタイアップも進め、集客対応力の強化を図ります。
- (5) ゴルフ事業部門は、会員様はじめ来場者の皆様にプレーを楽しんでいただくことを第一に、施設・設備の計画的な更新を進め、高品質なコースの提供を維持します。又、新装となった宿泊施設の稼働促進や各種イベント企画などにより、来場者の安定的確保に努めます。

以 上